

東北海区沿岸水温予報(2003年)

海域	経過 (12~3月)	現況(3月下旬~ 4月上旬)	見通し (4~6月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水試発表)	0m: 平年並み 50m: 平年並み 100m: 平年並み 津軽暖流の張り出しは弱め 水塊深度は12月がやや深め, 3月はとらえられなかった.	定地水温 3月: やや低め 4月: やや低め	津軽暖流域の水温は並みからやや高めとなる. 津軽暖流の東方への張り出しは弱勢から平年並.	2~4月の対馬暖流の水温は高めに転じ, 流幅は広めに推移した. 勢力としては平年並からやや強め.	
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水試発表)	12月 表面では概ね平年並 100m 深では平年並~やや低め. 1月 表面では平年並~低め 100m 深では低め~やや低め 2月 表面, 100m ともに概ね平年並 3月 前半は表面, 100m 深ともに概ね平年並~高めであったが, 後半は表層を低温, 低温分の水が沿岸に接岸した.	本県沖合に5 以下の親潮第一分枝が広く分布し, 県中部では接岸しており, 沖合では表面・100m ともにやや低め~低めで推移している.	期間を通して低め基調となり, 期間前半はやや低め~低め, 期間後半は平年並~やや低めで推移する.	4月中旬時点で, 親潮第一分枝が県全域で底層まで分布しており, オホーツク海に流氷の分布も見られる. また, 仙台管区気象台発表の気象3ヶ月予測では概ね平年並だが, 低温となる時期があるとなっていることから判断した.	イサダ漁: 漁期前半は低調であったが, 3月終わりから4月初めにかけて漁獲量が550~740トン/日程度まで回復し, 4月上旬段階で400トン/日程度の水揚げがある.
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水試発表)	12月: 表面は平年並~やや低め, 100m 深は142° E 以東の沖合海域でやや低め~極めて低め. 1~3月: 10~12月に見られた100m 深の極めて冷たい水は見られなくなり, 概ね平年より低め~平年並.	低温・低温の親潮系冷水が142° E 以東の沖合北中部を中心に広がり, この海域では, 表面・100m 深とも平年より低め~やや低めとなった. 南部海域では, 表面は平年より低め~平年並, 100m 深はほぼ平年並となった.	表面, 100m 深とも平年より低め~平年並で推移する.	沿岸親潮の勢力が強まっている. 類似年である1981年では, 沖合北部を除き平年よりやや低め~平年並となった. 偏差持続による予測, 主成分スコア自己回帰モデルによる予測でも, ほぼ全域平年より低め~平年並となった.	
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試発表)	12月: 親潮系冷水の勢力が強くなり, 県中北部の沿岸30~50海里付近で極めて低めとなった. またその下層(100~150m 深)には1~2 台の冷水が分布した. 1月: 親潮系冷水は県中北部に分布したが, 勢力は前月より弱まった. 黒潮系暖水は県南部沖合から波及し, 平年よりやや高め~高めで推移した. 2月: 県南部は沖合からの暖水波及がみられたが, その沿岸側に親潮系冷水が差し込み, やや低め. 県中北部はほぼ平年並み. 3月: 親潮系冷水, 黒潮系暖水とも勢力は弱く, 水温はやや低めで推移した.	親潮系冷水の勢力は強まり, 表面5 台の冷水が県中部沖40海里付近に分布. 黒潮系暖水の勢力は弱く, 目立った暖水波及はみられないが, 県南部のごく沿岸では茨城県海域からの暖水波及(暖水舌)がみられる.	平年並み~やや低めだが, 県南部は一時的に暖水波及を受ける.	親潮系冷水が断続的に南下するものの, 勢力は平年並みと考えられるため, 平年並み~やや低め. 県南部は概ね平年並みの勢力で推移すると思われるが, 黒潮系暖水の波及が見込まれる. また, 主成分スコア自己回帰モデルによる予測では, 4月は平年よりやや低め, 5月は平年並み~やや高め, 6月は平年並みとなった.	2月, 県北宮海で時化による寄せホッキ現象(波浪によりホッキが打ち上げられる現象)があり, 大きな被害を受けた. 2月~現在, 船曳網によるコウナゴ漁は県中北部で低調に推移. 県南部は平年並み. オアマミ漁は3月下旬に初漁を迎えたが, 本格化していない. 3月, ムラサキイガイに貝毒が発生した.
常磐南部 ~ 鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試発表)	12月: 親潮系冷水の差し込みが継続し, 黒潮域を除いて水温は「低め」であった. また, 鹿島灘には暖水舌が形成されていた. 1月: 親潮系冷水の差し込みが継続し, 黒潮域を除いて水温は「低め」であった. 2月: 親潮系冷水の差し込みが継続し, 鹿島灘には暖水舌が形成されている. 水温は黒潮域を除いて「低め」であった. 3月: 親潮系冷水の差し込みが継続し, 水温は黒潮域を除いて「低い」から極めて低い」であった.	4月: 親潮系冷水の差し込みが継続し, 鹿島灘には暖水舌が形成されている. 水温は黒潮域を除いて「低い」となっている.	4月から5月前半は, 沿岸では親潮系冷水の差し込みが継続し, 「低い」で推移し, 鹿島灘では断続的に暖水舌が形成され, 一時的に「平年並~やや高い」となる. 5月後半から6月前半では親潮系冷水の差し込みが強まり, 水温は「低い」で推移する.	房総沖の黒潮軸は, 4月から5月前半は, 接岸傾向で推移するが, 5月後半から6月前半は離岸傾向となる.	特になし

各階級の水溫平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部~鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10~70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4 ~	+4.0 ~	+6.0 ~	+2.4 ~	+4.0 ~	+4.0 ~
高い(7.5%)	+1.6~+2.3	+2.5~+3.9	4.0~+5.9	+1.6~+2.3	+2.5~+3.9	+2.5~+3.9
やや高い(20%)	+0.7~+1.5	+1.0~+2.4	1.5~+3.9	+0.7~+1.5	+1.0~+2.4	+1.0~+2.4
平年並み(40%)	+0.6~-0.6	+0.9~-0.9	1.4~-1.4	+0.6~-0.6	+0.9~-0.9	+0.9~-0.9
やや低い(20%)	-0.7~-1.5	-1.0~-2.4	1.5~-3.9	-0.7~-1.5	-1.0~-2.4	-1.0~-2.4
低い(7.5%)	-1.6~-2.3	-2.5~-3.9	4.0~-5.9	-1.6~-2.3	-2.5~-3.9	-2.5~-3.9
極めて低い(2.5%)	-2.4 ~	-4.0 ~	-6.0 ~	-2.4 ~	-4.0 ~	-4.0 ~